

新製品 新技術紹介

「スタンドアローン製品・設計群とステッキ jam」

鈴木 義輝

有限会社ウォーターベル 代表取締役
〒456-0052 愛知県名古屋市熱田区
二番一丁目11番5号401
TEL: 052-678-1330 FAX: 052-678-1331
URL: <http://standalone.waterbell.co.jp/>



はじめに

弊社は5年前30年勤めた会社の倒産後、当時の得意先企業や外注加工先様に助けられスタートいたしました。弊社には、特別な技術や特化できるものは何もなく、ただお客様と一緒にその先の最終ユーザー様の事を必死に考え行動する事で、頑張ってきました。しかしながら、住宅建材・事務機の業界もリーマンショック以降様々な要因が重なりいまだに苦しんでおり弊社も例外ではありません。そんな弊社が、新しいビジネス形態の構築を目指し、様々な方との出会いや協力のもと開発してまいりました「スタンドアローン製品・設計群とステッキ jam」を紹介させていただきます。

「スタンドアローン製品・設計群とステッキ jam」とは

スタンドアローン（登録商標）とは弊社開発の杖ホルダー内蔵ケース（インナーケース）を組み込んだ設計什器や製品群（特許）を総称した名称で、様々な素材との組み合わせが可能です。ステッキ jam とはスタンドアローン製品群の中軸を担う製品でPOM樹脂製のインナーケース部分が不使用時や高齢者、子供さんが衝突の際、水平に格納される機能を持ち合わせた安全な取り付け型製品で13色の品揃えから既存什器に取り付けいただける製品です。

開発の背景と動機

「長寿福祉社会の全てのシーンにほんの少しのやさしさを」

第一に福祉・リハビリ関連製品の開発生産に15年間関わり、杖をお持ちの方の行動を拝見したり、不安な心理

をお聞きする機会に恵まれ、杖をホルダーする製品の問題点などの情報をいただく事ができた事。第二に20年近く建築設計、現場監督、什器の生産に携わってきた事。そして決定的な事は6年前の国際福祉機器展における展示の際、林たまこ先生から杖ホルダーの原型を「こんな具合の良いホルダーバランスの製品は福祉先進国のヨーロッパでも見た事がないので、是非日本製としてヨーロッパの展示会へ出展しなさい。」と言っていた事と、体のご不自由な方達が「こんな開発は大手企業では絶対継続は無理だから、必ず投げ出さず続けて下さい。」と、涙ながらにご不自由な手で握手を求めてこられた事。そして弊社を含めた小企業とでも、知名度の高いCSR活動に積極的な大企業と行政がスタンドアローン（自立環境）を共有のコンセプトとして関わっていただければ、不具合をお持ちの方が安心して外出できる環境が整って行くと感じている事です。

製品の特徴

ホルダー

1. 杖の出入りが微弱な力で可能
2. 手の震う方でも片手進入が可能
3. 使用時に腕の上下が必要ない。（自然に前へ差し出すだけです。）
4. 杖上部が邪魔にならないような使用が可能
5. 衣服のひっかかり防止（ゴムや金属ではなくPOM）
6. 金属による破壊・傷つけ防止（POM使用と破壊にくい形状で解決）
7. 繰り返し 使用による割れ防止(U字型ホルダーの動き幅を限定す

る為のピンを設け疲労防止により解決と同時にU形状を保つ事によりいたずら防止となっています）

8. 水平固定しやすく前・横回転が可能な形状なので様々な組み合わせ設計が可能
9. 色の種類が豊富で弱視の方向けには赤・オレンジ・黄を使用し、什器への組込にはデザインに応じた選択が可能。

インナーケース

1. ホルダーを固定できる上下分割型ケースに収納した事によりケースサイズの空間が確保できれば、様々なデザインに組込が可能
2. 上下分割型ケースはいたずら防止目的で4箇所凹凸のはめ込み式とし、一般の方には開けられない仕様。

最後に

ほんの少しのやさしさをコンセプトにした商品や設計が普及するには、一人の人間や、大手企業一社や、一部門の行政では限界があります。しかし、共感していただける仲間が少しづつ関わっていただけたら実現するとの想いで発信しています。立場を越え仲間が増え、コンセプトが一人歩きでき、商品や技術はツールであり、人が主役になれる事を目指してもう少し頑張ります。有難うございました。



製品写真